

文化芸術活動等に関する県民意識調査の結果について

1 調査目的

文化芸術活動等に関する県民意識を把握し、今後の文化行政推進の参考とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 愛媛県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する18歳～79歳の男女
- (3) 回答者数 400人
- (4) 調査方法 インターネットを利用したアンケート調査
- (5) 調査時期 令和7年7月31日(木)～8月13日(水)

3 概要

【文化芸術イベントの鑑賞】

・この1年間に直接鑑賞したことがある文化芸術イベント（コンサートや美術展、映画館、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等）は、「映画（アニメーション映画を除く）25.5%」、「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民俗音楽等18.8%」、「美術（現代美術を除く）16.3%」の順であったが、最多の回答は「鑑賞したものはない40.0%」であった。

・鑑賞の頻度は、「年に数回程度52.5%」、「年に1回程度35.0%」と、87.5%が月に1回以下であった。

・鑑賞しなかった理由は、「関心がない」が21.3%、「近所で行われていない」が19.4%、「費用がかかりすぎる18.8%」の順であった。

【文化芸術活動の実践】

・この1年間に実践したことがある文化芸術活動（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加等）は、「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加7.3%」、「音楽、美術などの作品の創作6.5%」、「音楽の演奏、演劇等への出演5.3%」の順であった一方で、最多の回答は「特にしていない75.0%」であった。

・実践の頻度は、「年に1回程度」、「年に数回程度」が同じ32.0%、と、64.0%が月に1回以下であった。

【文化的な環境】

・文化的な環境への満足度について、「満足している」「どちらかといえば満足している」をあわせて33.5%、「満足していない」「どちらかといえば満足していない」をあわせて35.3%であり、満足していないと感じている割合が若干高くなっている。

なお、31.3%が「関心がない」と最多の回答であった。

・「満足していない」「どちらかといえば満足していない」理由は、「魅力的な活動・イベントがない48.2%」、「参加できる活動がない34.8%」であった。

・充実させるために重要なことについて、「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設の充実 28.3%」、「地域の芸能や祭りなどの継承、保存 17.3%」、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実 16.8%」の順であった。

【子どもの文化芸術体験】

・子どもの文化芸術体験に重要なことについて、「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実 28.0%」、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実 26.8%」、「地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会の充実 26.0%」の順であった。

【諸外国への発信】

・日本の文化芸術の魅力として発信すべき項目について、「マンガ・アニメーション映画 23.3%」、「伝統芸能（長歌、箏曲、義太夫、和太鼓等）22.8%」、「伝統芸能（歌舞伎、能・狂言等）21.8%」の順であった。